

Men's Dressmaking 紳士服製作

素材に合った伝統的な技法で背広を仕立て上げます

洋服が日本に伝来して約160年。一般に普及は戦後(1945年)以降です。背広型は工業化縫製で作業服化し、手作り縫製の注文洋服は高級裁縫技術品になりました。服装は固有の文化であり、着装する人の容姿や感性を熟慮して仕立てられる注文洋服は、より高く人格と、品性を表現します。

競技概要

事前に裁縫した上着の各部品(前身頃・背中・衿・袖)を組み立てて、人台に着せた時に見栄えと、手縫い技能の奥義の熟達度を競います。衿を除く各部品は手縫い又はミシン縫いで加工し、大部分は手作業で縫い合わせ、完成させます。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:NPO法人テイラーズ・ギルド]

嶋田 哲司さん

「ものづくり」は一生ものですから、若い人たちも技術を身に付けて末長く頑張っていってほしいなと思います!



Point

部品のうち、上前の前身頃の見返し合わせは本競技で製作します。衿は手作業で作製、袖を付けます。穴かがり・ステッチ(星縫い)・ポケット作りなどと、各部品の良否・立体形的美観について20項目程度を採点し評価されます。